

家庭学習の手引き 中学年

須賀川市立大東小学校

家庭学習における家庭の役割

～学習環境を整える～

テレビや音楽は止め、集中して学習ができるようにしましょう。これがいちばん大切です。

【導く 低学年】

お子さんの学習の様子を見守り、励ましながら進める。

【寄り添う 中学年】

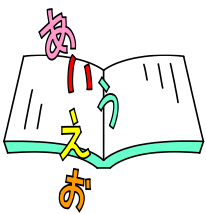
少し離れて様子を見ながら、できたらほめる。

「困ったときは自分から聞く」などの約束をする。

【見守る 高学年】

学習カードや記録カードなどのチェック程度にし、

自分で学習できることを大いにほめる。



それぞれのご家庭の状況に応じて、学習の仕方を工夫していただければと思います。

また、学年が上がると学習することも難しくなります。お子さんのがんばり認め、励ましていただければと思います。



中学年の学習について

〈時間の目安〉

『15分×学年』が目安となりますので、中学年は『45～60分程度』です。

〈学習の特徴〉

何よりも『毎日の生活の中で、家庭学習が習慣化される』ことが大切です。宿題が終わって時間があるときには、自主学習にも挑戦してみるといいでしょう。

学校生活にも慣れ、理科・社会・総合的な学習など、学習内容も広がります。高学年に向け、『自分で計画的に学習を進める力』を身に付けることが重要です。

中学年 自主学習例

教科名	学 習 内 容	
国語	音 読	<ul style="list-style-type: none"> ○ はっきりとした発音に注意しながら、声に出して読む。 ○ 文の切れ目や「、」「。」に注意しながら読む。 ○ 速く読むところ、ゆっくり読むところ、強めに読むところに気をつけて、声に出して読む。 ○ 会話文などは、人物の気持ちを考えながら読む。
	漢字練習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音読み、訓読みを調べ、塾語集めをする。 ○ 漢字の意味に注意し、その漢字を使って文を作る。
	作文（日記）	<ul style="list-style-type: none"> ○ 出来事のみを書くのではなく、自分の感じたことや気持ちを書く。 ○ 学習した漢字を使って書く。
	意味調べ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 意味の分からない言葉を国語辞書を引いて調べる。
	視 写	<ul style="list-style-type: none"> ○ 段落や「、」「。」、漢字に注意し、物語や詩をていねいに書き写す。
	ローマ字練習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の名前や身近なものの名前を書く。
算数	計算練習	<ul style="list-style-type: none"> ○ ドリルなどを使い、速く正確にできるようにする。計算したら、答え合わせをする。まちがえたところは、もう一度やり直す。 ○ じょうぎを使って線を引き、ていねいな数字で書く。
	問題づくり	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生活の中から、算数に関する問題をつくり、式と答えを書く。
	作 図	<ul style="list-style-type: none"> ○ 分度器やコンパスを正しく使って作図する。 ○ 角度の作図をしたり、角度を正しくはかったりする。
社会	地図学習	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図記号を覚える。 ○ 日本の都道府県名を覚える。 ○ 福島県の地理（市町村・気候・有名な道路・鉄道・施設・特産物）について覚える。
理科	観 察	<ul style="list-style-type: none"> ○ 図鑑で昆虫や草花について調べ、まとめる。 ○ 昆虫や草花について、テーマを持ち、続けて観察をする。 ○ 春夏秋冬の動植物の変化を観察する。
音楽	表 現	<ul style="list-style-type: none"> ○ リコーダーや鍵盤ハーモニカの練習をする。
体育	運 動	<ul style="list-style-type: none"> ○ なわとびの練習をする。